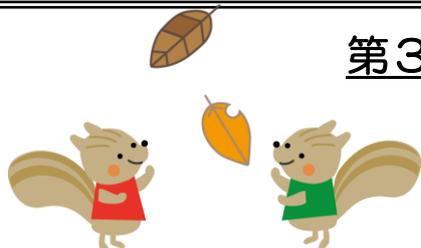


大垣市介護サービス相談員だより

第31号（令和5年9月）



○介護サービス相談員は何をする人・・・？

介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）などの介護保険事業所を訪問し、施設の利用者やその家族が日ごろ抱えている疑問、職員に直接言いにくいことなどを聞き、また相談員自らが気付いたことなどを事業所に伝えることによって、問題解決に向けた橋渡しをするのが、「介護サービス相談員」です。介護サービスの質の向上を目指して活動しています。大垣市では、現在 13 名の相談員が活動しています。

○介護サービス相談員の活動紹介

新型コロナウイルス感染症の影響により、Zoom や手紙を活用して相談活動を続けてきましたが、7月ごろから訪問活動ができるようになりました。利用者の方に直接お会いできることを楽しみに今後も活動していきます。

- ・久々の訪問で緊張しました。3年半の空白でしたが、顔を覚えていてくださった事が嬉しかったです。
- ・「やっと会えた」と握手。「変わらず入れ歯だけど自分でご飯食べ、トイレも行けるよ」「幸せ」と笑顔。
- ・始終笑顔や笑いで貴方もいい人と握手。「あんたの手あったかい」と皆で握手しました。
- ・久しぶり、と皆さんに迎えてもらい、同じテーブルで4人の方とお話ができて最高でした。皆さん穏やかで、笑顔を見られた事が嬉しかったです。

相談活動に当たって、施設から次のような声を頂いています。

皆さん、長い間待ち焦がれていた様子で、握手をしたり、間近でお互いの顔を見ながら大笑いしたりと、顔と顔を見ての触れ合いがいかに大切かを痛感しました。来苑して頂けることが、中断する事なく長く続く事を願うばかりです。

活動の様子をご紹介します。

ご利用者様の声

2階の部屋から3階の部屋に変わるよう連絡があった。慣れた部屋だったので変わりたくなかったが、変えられてしまい不満に思っている。

毎日の食事は残しがちです。食事に出してほしいメニューはパンです。

施設の返答・回答

ご本人の思いは聞き取りますが、どのようにお伝えすればご理解頂けるのかを考え、利用者様とお話をするようにしたいと思います。

当施設ではご飯食の希望が多いため、ご飯食を提供しております。ご希望に添えるよう、おやつにて提供できないか検討しております。



○新しい介護サービス相談員を紹介します

今年度、介護サービス相談員養成研修を終え、活動を開始する新しい介護サービス相談員を紹介します。



福澤 ゆき 相談員

コロナ禍に母が介護施設に入所し、見舞いにもなかなか行けない状況で他界しましたが、その際に施設のスタッフの方々に接し、大変な職業であると感じていました。同時に今まで関心の無かった介護施設や、介護保険が身近に思われ、少しでも何かお役に立つことができればと考えています。

まだまだコロナは油断ができない状況で、利用者さんとのやりとりも難しい点は多々ありますが、活動を続けていきたいと思っております。

浅野 亜紀子 相談員

前職では高齢者への配色サービスの仕事をしていまして、広報でこの仕事を見つけやってみたいと思い応募しました。相談員の研修で身に付けた知識と、会議での先輩相談員さんの現場のお話を参考にしながら、施設の利用者さんにも事業者さんにも信頼して頂ける相談員になれるよう努力して参ります。

よろしくお願ひいたします。

介護サービス相談員だより 第31号(令和5年9月)

発行 大垣市介護保険課(介護サービス相談員派遣事業事務局)

電話: 47-7409 FAX: 81-6221

e-mail: kaigohokenka@city.ogaki.lg.jp

— 法務省 人権啓発キャッチコピー —
「誰か」のこと じゃない。